

平成25年度 活動計画概要(案)

相談支援部会

全体目標

がんによる死亡者の減少
(75歳未満の年齢調整死亡率の20%減少)

部会が担当する分野の課題と目標

【目標】がん患者さんやその家族ががん相談を希望すれば、いつでもどこでも質の高いがん情報の提供や相談が受けられる、

中期目標: 2015年までに県民の50%が相談窓口を知っていて、その8割ががんの悩みを解決でき、相談窓口での対応に満足している。
指標: ①相談窓口認知度、②患者満足度
測定方法: 患者満足度調査、拠点・支援病院がん相談件数の合算、分析

最終目標: 2018年までに県民の80%が相談窓口を知っていてその8割ががんの悩みを解決でき、質の揃ったがん相談員が拠点病院、支援病院に配置されている。
指標: ①相談窓口認知度、②患者満足度
測定方法: 患者満足度調査、拠点・支援病院がん相談件数の合算、分析

施策毎のアウトカム目標

【アウトカム1】
2015年3月までに県全体の50%が相談できる場を知っていて、希望した時に利用できる。

【アウトカム2】
2015年3月までにがんに関連する施設等を運営して20万部配布する。

【アウトカム3】
ピアサポート等と連携し、児がんサバイバーのネットワークを支援する。

【アウトカム4】
2013年9月までに予備調査(認知度)を終了する。

【アウトカム5】
相談員間で質の揃った対応が可能となり、その地域に不足している資源や課題が明らかになる。

施策毎のアウトカム目標

【施策1】
患者必携「地域の療養情」第3版を作成後の調査と今後の対策を行う。

【施策2】
相談支援センターに開催するチラシやラジオ番組の参加等、広報活動を行う。

【施策3】
患者家族満足度調査実施し、分析結果の公開と、相談支援センターの充実を図る。

導き出された対策項目

【施策4】
拠点病院・支援病院に相談員が適切に配置される。

【施策5】
がん相談員を対象とした研修会(地域の情報配布方法を含む)を企画・開催する。

【施策6】
沖縄県がん相談支援センター相談マニュアル(小児がん対応用)を作成する。

【対策項目1】
相談窓口の機能、役割についての情報は患者、市民に知らせる

【対策項目2】
相談支援の充実と質の向上

【対策項目3】
運営資源の充実化